

問 官製談合等の防止対策を問う

答 厳正な執行で不正防止に努める

松井 甫 議員

問 日本各地で官製談合が相次いでおり、知事まで逮捕されるという異常な事態が起きています。なぜこのような事件が起きるのでしょう。行政の立場にあるものは、常に市民の信頼を裏切らないよう、不正防止に努めなければなりません。それでは次の点を伺いたい。

ともに、公正な入札執行に取り組んでいるところですが、先ず現行制度について、検証検討してあり現在のところ機構改革の必要はない。次にそれぞれ業務を独立させ透明性の確保を図り、審査会等で検証も行っておりチェック体制も確立している。次に公平で公正な制度にするため、常に分析検証して改革に取り組んでいきたい。最後に現行の制限つき公募型競争入札を基本に検証等を行い公正かつ厳正な執行に努めて参ります。

市長

本市は参加機会の拡大と競争性の確保に努めると



問 複式簿記財務諸表の作成を

答 必要性理解し作成に取り組んでいる

岸本 義明 議員

問 従来の公会計が採用している単式簿記会計にはさまざまな欠陥がある。複式簿記を採用し、第三セクターも含めた市全体の財政の実態を明確に把握できる財務諸表を作成し、財政構造の改善や施策の検討に活用すべきだ。そうすれば夕張市のような隠れ借金など発生する余地もなくなる。

従来の公会計が採用している単式簿記会計にはさまざまな欠陥がある。複式簿記を採用し、第三セクターも含めた市全体の財政の実態を明確に把握できる財務諸表を作成し、財政構造の改善や施策の検討に活用すべきだ。そうすれば夕張市のような隠れ借金など発生する余地もなくなる。

総務部長

総務省の指示もありませんが、まだ作成できていない。以前作成した財務諸表では、他の市に比して起債依存度が高く、人件費、公債費の負担が大きいことが示されたので、今回の予算では人件費、経常経費を削減し、不利な一般債の発行は極力抑

問

市民の目線に合った情報提供として、事業別コスト計算書の作成が求められている。

総務部長

必要性は理解しているがまだ作成していない。今回初めて、不完全なものではあるが主要事業の説明書を作成した。

問

これまでのような分りにくい予算書・決算書に代わって、事業別予算・決算を導入すべきだ。

総務部長

人件費の割り振りなど困難な点もあるが、導入に向けて準備を進めている。

市長

民間の経営手法を可能な限り採用し、職員の意識改革を進める。

問 いじめ対策について公共事業の現場管理について

答 早期発見、早期対応に努める地域住民への充分な対応を

小林 健志 議員

問 いじめ対策・対策マニュアルについて。

教育長

昨年末にいじめのアンケート調査を実施。特に中学校における記名アンケートに基づく指導は、生徒の認識を深めるとともに、個々のいじめの実態についての指導ができたので成果があった。今後定期的にも実施する。また、県教委作成の対策マニュアルをもとに、子供達の現状についての認識を行い早期発見・早期対応に努めていきたい。

問

小学校の登下校パトロール隊について。

教育長

住民の方々に感謝し

問

職員の現場管理について。

総務部長

公共事業の実施において地域住民への対応は慎重にすべき項目である。今回の住民に対する周知や、業者への指示が不十分であったという反省に基づき、今後さらに関係部局と調整会議を通じて指導・改善に努めたい。